

令和 3 年 度
事業報告書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日)

学校法人 尾張学園

目 次

学園の沿革

1 学校法人の概要

1. 設置する学校及び入学定員の状況
2. 設置する学校の生徒数の推移
3. 設置する学校の教職員数の推移
4. 役員の概要

2 事業の概要

1. 各校の概要
 - (1) 名古屋大谷高等学校
 - (2) 豊田大谷高等学校
2. 令和3年度 特別事業の概要

3 財務の概要

1. 資金収支計算書
2. 事業活動収支計算書
3. 貸借対照表
4. 財産目録

学 園 の 沿 革

- 文政10年(1827年) 東本願寺掛所(名古屋別院)に閲蔵長屋を創設
- 明治 5年 講究所と改称
9年 尾張小教校となる
16年 尾張教校と改称
20年 大谷派普通学校と改称
27年 尾張中学寮となる
29年 真宗尾張中学と改称
41年 私立尾張中学校として文部省認可
- 昭和11年 瑞穂区高田町(現在地)に移転
23年 学制改革により新制高校となる
尾張高等学校設置許可
26年 学校法人尾張学園組織変更認可
30年 商業科設置
38年 洗心館(体育館兼講堂)竣工
40年 NHK学園協力校となる
49年 本館(現管理部門及び30教室)竣工
西館(旧本館)特別教室棟として改修
52年 正道館(武道館)竣工
53年 創立150周年記念式典挙行
58年 東館竣工
59年 尾張高等学校を名古屋大谷高等学校と改称
豊田大谷分校開設
60年 名古屋大谷高等学校校地を名古屋別院より無償譲渡される
61年 豊田大谷高等学校開設
62年 豊田大谷高校 豊徳館(体育館兼講堂)竣工
- 平成 2年 成績管理コンピューターシステム導入
5年 豊田大谷中学校開設
豊田大谷高等学校創立10周年記念式典挙行
9年 名古屋大谷高校校訓を「人と生まれ、人になる」に変更実施
- 平成11年 愛知新城大谷短期大学 社会福祉学科開設
名古屋大谷高校 男女共学制に移行及び福祉医療進学コース新設
創立170周年記念式典挙行
- 平成16年 短期大学を愛知新城大谷大学短期大学部 介護福祉学科と名称変更
愛知新城大谷大学 社会福祉学部を開設
- 平成17年 豊田大谷中学校募集停止(平成19年度より休校)
- 平成21年 愛知新城大谷大学・同短期大学部募集停止を届出
- 平成23年 愛知新城大谷大学短期大学部の廃止の認可
- 平成25年 豊田大谷中学校の廃止の認可
愛知新城大谷大学の廃止の認可
- 平成26年 名古屋大谷高等学校総合体育館(洗心館)竣工
- 平成27年 学園情報システム(教務・事務システム)刷新
- 平成28年 名古屋大谷高等学校実習棟竣工
- 平成29年 創立190周年記念広告を中日新聞に掲載
- 平成31年 豊田大谷高等学校創立35周年記念事業を実施
- (令和元年)

1 学校法人の概要

学校法人尾張学園は、教育基本法及び学校教育法に従って、建学の精神である「宗祖親鸞聖人のみ教え」と「真宗の教義」に基づいた学校教育を行い、「いのちを大切にし、真実に生きる人間形成」を目指しています。

この目的を達成するために設置された本学園の令和3年度における概要は、以下のとおりです。

1. 設置する学校及び入学定員の状況

(令和3年5月1日現在)

校名	学科	コース	学則定員 (令和3年度)
名古屋大谷高等学校	普通科	特別進学コース 特別選抜コース 福祉医療進学コース 文理進学コース	450
	商業科		
豊田大谷高等学校	普通科	特別選抜コース 人間福祉コース 情報メディアコース 文理コース 生活文化コース	240
合計 (収容定員合計)	—	—	780 (2,340)

2. 設置する学校の生徒数の推移

(令和3年5月1日現在)

校名	1年	2年	3年	合計	2年度	元年度
名古屋校	472	590	545	1,607	1,715	1,573
豊田校	338	251	304	893	775	795
計	810	841	849	2,500	2,490	2,368

3. 設置する学校の教職員数の推移

【令和3年度】

(令和3年5月1日現在)

校名	教員 専任・常勤	事務・用務 専任・常勤	合計 専任・常勤
名古屋大谷高等学校	92	21	113
豊田大谷高等学校	50	11	61
法人	—	3	3
合計	142	35	177

【令和2年度】

(令和2年5月1日現在)

校名	教員 専任・常勤	事務・用務 専任・常勤	合計 専任・常勤
名古屋大谷高等学校	92	22	114
豊田大谷高等学校	49	10	59
法人	—	3	3
合計	141	35	176

4. 役員の概要

令和3年4月1日～令和4年3月31日

【理事】 10名（理事定数 10名）

【監事】 2名（監事定数 2名）

【評議員】 21名（評議員定数 21名）

2 事業の概要

1. 各校の概要

【建学の精神】

宗祖 親鸞聖人のみ教えに基づき、いのちを大切にし、真実に生きる人間形成を目指す。

(1) 名古屋大谷高等学校

校訓 「人と生まれ 人になる」

【教育方針およびめざす生徒像】

校訓「人と生まれ 人になる」のもと、建学の精神の具現化をはかり、「いのち」を大切にし、真実に生きる人間形成をめざして、以下の教育方針を掲げる。

◆めざす学校像

- ① 校訓の具現化～校訓に基づく校内外活動の実践～
- ② 190年の宗門校としての特色ある学校
- ③ いただいた「いのち」に気づく学校

◆めざす生徒像

- ① 社会性を身につけた生徒
- ② ひとを思いやる心をもった生徒
- ③ あいさつ（おはよう・こんにちは・ありがとう）がきちんと言える生徒

◆めざす教職員

- ① 指導の内実を高める～授業で勝負する！～（エビデンスに基づく実践）
- ② 生徒の笑顔を引き出す心遣い（まずは共感し聞くという姿勢）

(2) 豊田大谷高等学校

校訓 「命尊し」

◆めざす学校像

- ① 社会人としての資質を育てる学校
- ② 自立性・主体性を大切にする学校
- ③ 保護者・地域に信頼され期待される学校
- ④ 生徒を育てる教職員の力量を向上する学校

◆中期目標

- ① コースの特色を生かし、多様な進路選択に応え、進路希望を実現する
- ② 学力向上と学習習慣を身につけさせる
- ③ 地域貢献・広報活動を通して本校の魅力を積極的に伝える

◆育てたい生徒像

- ① 落ち着いて自己を見つめることができる生徒
- ② 相手の立場に立って考えることができる生徒
- ③ 最後までやり抜く力を持つ生徒
- ④ あいさつと返事ができる生徒
- ⑤ 社会性・コミュニケーション力をもつ生徒
- ⑥ 目的意識と判断力を持ち自分の言動に責任を持てる生徒

◆めざす教職員像

- ① 組織の一員として自覚をもった発言と行動ができる教職員
- ② 生徒がわかる授業づくりに取り組む教師
- ③ 子ども自身に気づかせる生徒指導に取り組む教師
- ④ 生徒に寄り添い信頼関係を築く教師

2. 令和3年度 特別事業の概要

(1) 学校施設設備整備事業

教育環境づくりを目的として以下の設備工事を行った。

名古屋大谷高等学校の施設工事

○グラウンド照明改修工事

- ①実施時期 令和3年12月
- ②事業箇所 本館および西館屋上
- ③予算科目 建物
- ④財 源 学園資金

豊田大谷高等学校の施設工事

○体育館増築整備工事

- ①実施時期 令和2年9月より令和3年7月（第Ⅰ期：令和2年9月から令和3年3月／第Ⅱ期：令和3年4月から令和3年7月）
- ②事業箇所 体育館北側校地（教職員駐車場）
- ③予算科目 建物
- ④財 源 学園資金

○多目的棟改修工事

- ①実施時期 令和2年8月より令和3年7月（第Ⅰ期：令和2年8月から令和2年12月／第Ⅱ期：令和3年4月から令和3年7月）
- ②事業箇所 多目的棟（旧中学棟）
- ③予算科目 修繕
- ④財 源 学園資金

3 財務の概要

1. 資金収支計算書

資金収支計算書

令和 3年 4月 1日から

令和 4年 3月31日まで

(単位:千円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	(1,097,547)	(1,101,479)	(△ 3,932)
手数料収入	(33,370)	(33,472)	(△ 102)
寄付金収入	(116,714)	(117,085)	(△ 371)
補助金収入	(1,084,269)	(1,084,907)	(△ 638)
資産売却収入	(400,000)	(400,000)	(0)
付随事業・収益事業収入	(0)	(0)	(0)
受取利息・配当金収入	(20,675)	(20,710)	(△ 35)
雑収入	(164,586)	(166,721)	(△ 2,135)
借入金等収入	(0)	(0)	(0)
前受金収入	(166,640)	(169,120)	(△ 2,480)
その他の収入	(286,663)	(284,584)	(2,079)
資金収入調整勘定	(△ 328,071)	(△ 330,925)	(2,854)
前年度繰越支払資金	(877,784)	(877,784)	
収入の部合計	(3,920,177)	(3,924,937)	(△ 4,760)
支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	(1,844,691)	(1,840,657)	(4,034)
教育研究経費支出	(350,991)	(330,696)	(20,295)
管理経費支出	(61,578)	(49,945)	(11,633)
借入金等利息支出	(1,910)	(1,909)	(1)
借入金等返済支出	(30,550)	(30,550)	(0)
施設関係支出	(132,308)	(130,448)	(1,860)
設備関係支出	(18,063)	(16,824)	(1,239)
資産運用支出	(501,000)	(500,560)	(440)
その他の支出	(226,044)	(223,635)	(2,409)
[予備費]	(0)		
	10,000		10,000
資金支出調整勘定	(△ 133,239)	(△ 180,320)	(47,081)
翌年度繰越支払資金	876,281	980,033	△ 103,752
支出の部合計	(3,920,177)	(3,924,937)	(△ 4,760)

2.事業活動収支計算書

事業活動収支計算書

令和 3年 4月 1日から

令和 4年 3月31日まで

(単位:千円)

		科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動収入の部	事業活動収入の部	学 生 生 徒 等 納 付 金	(1,097,547)	(1,101,479)	(△ 3,932)
		手 数 料	(33,370)	(33,472)	(△ 102)
		寄 付 金	(121,535)	(122,098)	(△ 563)
		経 常 費 等 補 助 金	(1,081,926)	(1,082,564)	(△ 638)
		付 随 事 業 収 入	(0)	(0)	(0)
		雑 収 入	(164,588)	(166,723)	(△ 2,135)
		教 育 活 動 収 入 計	(2,498,966)	(2,506,336)	(△ 7,370)
教育活動支出の部	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		人 件 費	(1,844,691)	(1,840,658)	(4,033)
		教 育 研 究 経 費	(537,991)	(519,056)	(18,935)
		管 理 経 費	(67,598)	(54,689)	(12,909)
		徴 収 不 能 額 等	(0)	(0)	(0)
		教 育 活 動 支 出 計	(2,450,280)	(2,414,403)	(35,877)
教育活動収支差額		(48,686)	(91,933)	(△ 43,247)	
教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		受 取 利 息 ・ 配 当 金	(20,675)	(20,710)	(△ 35)
		そ の 他 の 教 育 活 動 外 収 入	(0)	(0)	(0)
	教育活動外収入計		(20,675)	(20,710)	(△ 35)
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		借 入 金 等 利 息	(1,910)	(1,909)	(1)
そ の 他 の 教 育 活 動 外 支 出		(0)	(0)	(0)	
教育活動外支出計		(1,910)	(1,909)	(1)	
教育活動外収支差額		(18,765)	(18,801)	(△ 36)	
経 常 収 支 差 額		(67,451)	(110,734)	(△ 43,283)	
特別収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		資 産 売 却 差 額	(0)	(0)	(0)
		そ の 他 の 特 別 収 入	(5,564)	(5,640)	(△ 76)
	特 別 収 入 計		(5,564)	(5,640)	(△ 76)
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		資 産 処 分 差 額	(180)	(158)	(22)
		そ の 他 の 特 別 支 出	(0)	(0)	(0)
		特 別 支 出 計	(180)	(158)	(22)
特 別 収 支 差 額		(5,384)	(5,482)	(△ 98)	
[予 備 費]		(0)		10,000	
基本金組入前当年度収支差額		62,835	116,216	△ 53,381	
基本金組入額		△ 51,000	△ 40,561	△ 10,439	
当 年 度 収 支 差 額		(11,835)	(75,655)	(△ 63,820)	
前 年 度 繰 越 収 支 差 額		△ 2,998,998	△ 2,998,998	0	
基本金取崩額		0	0	0	
翌 年 度 繰 越 収 支 差 額		(△ 2,987,163)	(△ 2,923,343)	(△ 63,820)	
(参考)					
事 業 活 動 収 入 計		2,525,205	2,532,686	△ 7,481	
事 業 活 動 支 出 計		2,462,370	2,416,470	45,900	

3.貸借対照表

貸 借 対 照 表

令和 4年 3月31日

(単位:千円)

資産の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 資 産	(11,418,618)	(11,355,737)	(62,881)
有 形 固 定 資 産	(9,058,510)	(9,095,941)	(△ 37,431)
土 地	6,477,893	6,477,893	0
建 物	2,327,557	2,235,699	91,858
構 築 物	100,973	119,921	△ 18,948
教 育 研 究 用 機 器 備 品	78,168	82,641	△ 4,473
管 理 用 機 器 備 品	10,974	10,300	674
図 書	62,719	61,415	1,304
車 輜	226	688	△ 462
建 設 仮 勘 定	0	107,384	△ 107,384
特 定 資 産	(2,173,818)	(2,023,258)	(150,560)
そ の 他 の 固 定 資 産	(186,290)	(236,538)	(△ 50,248)
流 動 資 産	(1,142,886)	(1,078,810)	(64,076)
現 金 預 金	980,033	877,784	102,249
そ の 他 の 流 動 資 産	162,853	201,026	△ 38,173
資 産 の 部 合 計	(12,561,504)	(12,434,547)	(126,957)
負債の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 負 債	(336,050)	(366,600)	(△ 30,550)
長 期 借 入 金	336,050	366,600	△ 30,550
流 動 負 債	(443,718)	(402,427)	(41,291)
短 期 借 入 金	30,550	30,550	0
未 払 金	180,901	135,686	45,215
前 受 金	169,120	171,920	△ 2,800
預 り 金	63,147	64,271	△ 1,124
負 債 の 部 合 計	(779,768)	(769,027)	(10,741)
純資産の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
基 本 金	(14,705,079)	(14,664,518)	(40,561)
第 1 号 基 本 金	14,473,261	14,433,260	40,001
第 3 号 基 本 金	73,818	73,258	560
第 4 号 基 本 金	158,000	158,000	0
繰 越 収 支 差 額	(△ 2,923,343)	(△ 2,998,998)	(75,655)
翌 年 度 繰 越 収 支 差 額	△ 2,923,343	△ 2,998,998	75,655
純 資 産 の 部 合 計	(11,781,736)	(11,665,520)	(116,216)
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	(12,561,504)	(12,434,547)	(126,957)

4.財産目録

財 産 目 録

(令和4年3月31日現在)

1. 資 産 総 額	金	12,561,504 千円
内 1 基 本 財 産	金	9,061,490 千円
2 運 用 財 産	金	3,500,014 千円
2. 負 債 総 額	金	779,768 千円
3. 正 味 財 産	金	11,781,736 千円
(一) 資 産		
(1) 基 本 財 産	金	9,061,490 千円
(イ) 土 地	金	6,477,893 千円
94,098.00 平方メートル		
(ロ) 建 物	金	2,327,557 千円
31,683.51 平方メートル		
(ハ) 構 築 物	金	100,973 千円
(ニ) 機 器 備 品	金	89,142 千円
8,854 点		
(ホ) 図 書	金	62,719 千円
50,154 冊		
(ヘ) そ の 他	金	3,206 千円
(2) 運 用 財 産	金	3,500,014 千円
(イ) 預 貯 金 ・ 現 金	金	980,033 千円
(ロ) 有 価 証 券	金	183,310 千円
(ハ) 特 定 資 産	金	2,173,818 千円
(ニ) 未 収 入 金	金	159,005 千円
(ホ) 前 払 金	金	3,848 千円
(二) 負 債	金	779,768 千円
(1) 固 定 負 債	金	336,050 千円
(イ) 長 期 借 入 金	金	336,050 千円
(2) 流 動 負 債	金	443,718 千円
(イ) 短 期 借 入 金	金	30,550 千円
(ロ) 前 受 金	金	169,120 千円
(ハ) 未 払 金	金	180,901 千円
(ニ) 預 り 金	金	63,147 千円